

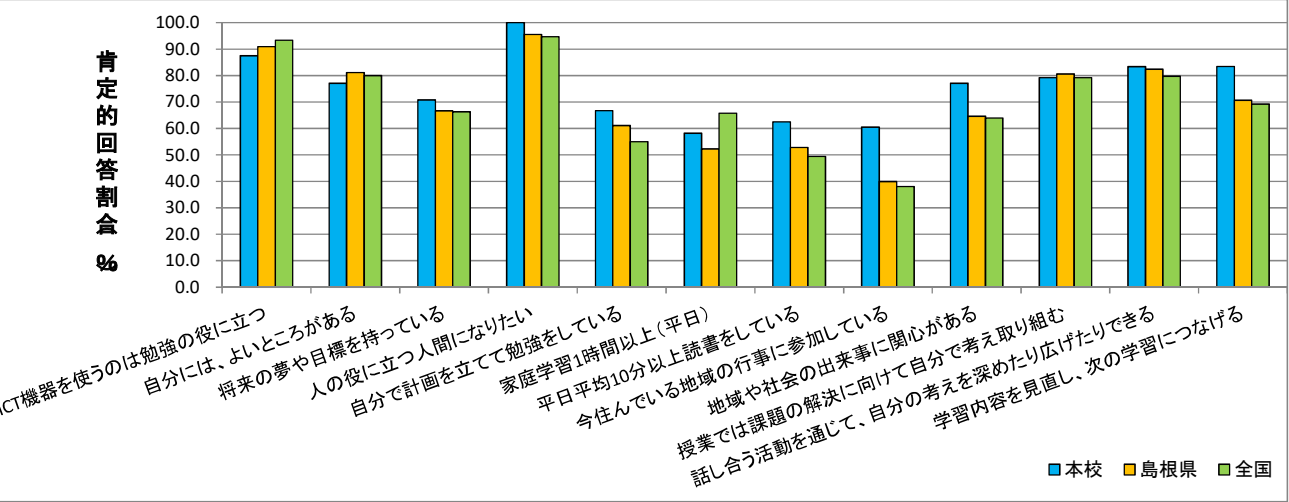
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○情報の内容について、授業で時間をとって学習したので、情報の扱い方の知識が身に付いている生徒が多い。 ●文章の内容を読みとることに課題が見られる。 ●古文についての知識の定着に課題が見られる。	・文章の内容を読みとる学習や文章の要旨をまとめる学習を増やす。 ・古文の学習に興味関心がわくように、教材を工夫する。 ・歴史的仮名遣いについての知識を定着させるために、古文の音読や暗唱の機会を増やす。
数学	○文字式の基礎計算はおおむね良い。図形、データの活用の領域で正答率の高いところがある。 ●関数、データの活用領域において思考・判断に課題が見られる。 ●記述式の問題に課題が見られる。	・数学で使われる言葉の概念や意味を丁寧に指導し、反復練習を取り入れながら、知識理解の定着をめざす。 ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉えられるように、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する機会を授業の中で多く取り入れる。
英語	○短い英文を聞いて、概ね正確に情報を聞き取ることができている。 ●自分の考えや理由を整理し、まとまりのある英文を書くことに課題が見られる。 ●まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を読み取ることに課題が見られる。	・語彙や文構造を定着させるために、ドリルやワークに加え、家庭学習の充実を図る。 ・まとまりのある英文を書く学習を増やす。 ・教科書やそれ以外のまとまりのある英文を聞いたり読んだりする機会を増やす。

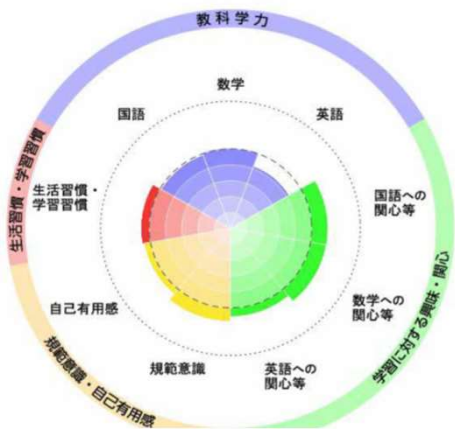
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○県や全国の結果と比較すると、「地域や社会をよくするために何かしたい」と思う割合が高い。 ●「自分には、よいところがあると思いますか」に対して肯定的に捉えていない生徒が2割近くいる。 ●家庭学習2時間以上が全国比で20%低く、30分以下が5%多い。	・道徳や特別活動、教育相談等を通して、自己有用感を高める場面や機会を多く設ける。 ・毎日5教科から出される宿題プリント及び週末のタブレット学習を習慣化し、家庭学習の定着につなげる。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・本校の研究主題「主体的に学び、考え、自己決定できる生徒の育成～対話的な活動を通して～」を推し進め、学習内容の定着や深まりを目指す。
・生徒質問紙調査において「人の役に立つ人間になりたい」に対する肯定的回答が100%であることを大切にし、引き続きキャリア教育の視点を取り入れた教育活動を展開していく。

【受検者数】

48 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。



INFORMATION